

# 第 29 回 2022 年度瀬戸内海研究フォーラム in 和歌山

## 「今再び、瀬戸内海から、 我ら共有の“未来”を考える」



左より「不老橋」「加太漁港」「雑賀崎」「和歌浦」  
写真提供（公社）和歌山県観光連盟

開催日程	2022年8月18日(木)~19日(金)
開催場所	和歌山県民文化会館 2階 小ホール（本会場） ポスター掲示会場：1階中展示室・交流会：6階特別会議室 B
参加費	無料 ※要事前申込
定員	150名（各日）



### 和歌山県民文化会館へのアクセス

和歌山市小松原通り 1-1 (和歌山県庁前) TEL:073-436-1331

- |   |   |
|---|---|
| <p>■南海電鉄「和歌山市駅」より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩 約 20 分</li> <li>・タクシー 約 5 分</li> <li>・バス 約 10 分「県庁前」下車(徒歩約 4 分)</li> </ul> | <p>■JR「和歌山駅」より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩 約 35 分</li> <li>・タクシー 約 10 分</li> <li>・バス 約 10 分「県庁前」下車(徒歩約 4 分)</li> </ul> |
|---|---|

### 申込・問い合わせ先（特非）瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 東館5階(公社)瀬戸内海環境保全協会内  
TEL:078-241-7720 Fax:078-241-7730 E-mail:web@seto.or.jp  
URL: <http://www.seto.or.jp/kenkyu/>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場の際、マスク着用・消毒、体調チェックリストの提出をお願いしております。また、当掲載内容は状況により変更が生じる場合がございます。事務局 URL に最新情報を掲載しております。ご理解とご協力のほどお願いいたします。

申込方法	下記事項を明記し、申込先に送信してください。※後日、参加証をお送りします。		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>氏名 / ふりがな</li> <li>所属名</li> <li>参加日 [ 8/18 ・交流会(8/18 18:30-19:30) ・ 8/19 ]</li> <li>連絡先 [ メールアドレス または Fax 番号 ]</li> <li>所属先またはお住まいの都道府県名</li> </ol>	<p>— 参加申込期限 — 2022年8月15日</p>	
申込先	E-mail <a href="mailto:web@seto.or.jp">web@seto.or.jp</a> FAX 078-241-7730	Google フォーム <a href="https://forms.gle/4zcYwjPSZJLdfAJ47">https://forms.gle/4zcYwjPSZJLdfAJ47</a> ※フォームでの送信後 24 時間以内に自動返信がない場合、 <a href="mailto:web@seto.or.jp">web@seto.or.jp</a> までご連絡ください	Google フォーム QR コード

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議 共催：瀬戸内海環境保全知事・市長会議  
協賛：公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会  
後援：環境省、和歌山県、和歌山市、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、  
国立大学法人 和歌山大学

## 趣旨

現在、世界は2030年に向けて掲げられたSDGs（持続可能な開発目標）という国際的な到達点を目指し歩みを進めています。2022年の瀬戸内海研究フォーラム in 和歌山では、今再び瀬戸内海から、私たちに共有される持続可能な「未来」を考えます。環境の状況は変化し、気候変動に代表される将来の危機が顕在化する一方で、バイオプラスチックやAI活用などの新たな取り組みも生まれつつあります。海洋プラスチックや温暖化の問題を含めて、私たちが今後未来に向けて備えるべき瀬戸内海の危機について、またこれらに対応すべくさらにどのような取り組みが求められるのかについて、和歌山や関連する地域から、未来に向けて自然科学、人文・社会科学を含む様々な智慧を交流し、知のプラットフォームの一助となることをめざします。

8月18日（木） 12時30分開場 ※一部の講演はリモートで行われます。

開会式	13:00-13:15	挨拶・祝辞		
	13:15-13:20	趣旨説明	運営委員長(和歌山大学システム工学部教授)	吉田 登
基調講演	13:25-13:50	瀬戸内海における環境政策 ～きれいで豊かな瀬戸内海の実現に向けて～	環境省 水・大気環境局 閉鎖性海域対策室 室長	木村 正伸
第1セッション  藻場の今と未来	13:55-14:00	趣旨説明	和歌山大学システム工学部	教授 井伊 博行
	14:00-14:25	和歌山県の藻場について	和歌山県水産試験場 企画情報部	部長 諏訪 剛
	14:25-14:50	広域的なモニタリング手法による藻場分布の把握	水産研究・教育機構 水産技術研究所 水産工学部	研究員 佐藤 允昭
	14:50-15:15	横浜ブルーカーボンの社会実装とこれから（JBEのアクション）	ジャパングループエコノミー（JBE）技術研究組合	理事 信時 正人
	15:15-15:40	質疑・総合討論		
第2セッション ポスターセッション <small>瀬戸内海と周辺地域の環境・経済・社会に関する研究・活動報告</small>	15:50-15:55	趣旨説明	和歌山大学システム工学部	教授 江種 伸之
	15:55-16:35	ポスターフラッシュ口頭発表		
	16:40-17:40	ポスター前説明（1階 中展示室） ＜前半＞奇数番号ポスター 16:40～17:10 ＜後半＞偶数番号ポスター 17:10～17:40		
(特非)瀬戸内海研究会議 総会	17:45-18:15	会員総会（小ホール）		対象：研究会議会員
交流会（無料/飲食なし）	18:30-19:30	情報・意見交換会（6階 特別会議室B）		対象：フォーラム参加者

8月19日（金） 9時開場 ※一部の講演はリモートで行われます。

第3セッション  海洋プラごみの今と未来	9:30-9:35	趣旨説明	和歌山大学システム工学部	准教授 山本 祐吾
	9:35-10:00	海洋ごみガバナンスへの挑戦：無人島・友ヶ島から	大阪公立大学/一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会 KATEIS	准教授 千葉 知世
	10:00-10:25	マイクロプラスチック等の流出実態調査及び問題解決への挑戦	株式会社/一般社団法人ピリカ	研究員 土村 萌
	10:25-10:50	海洋生分解性を有するカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planet	株式会社カネカ Global Open Innovation 企画部	幹部職 福田 竜司
	10:50-11:15	質疑・総合討論		
ポスター発表	11:15-12:45	ポスター前説明（自由参加） 1階 中展示室		
第4セッション  環境教育と地域づくりの今と未来	12:45-12:50	趣旨説明	和歌山大学観光学部	准教授 永瀬 節治
	12:50-13:15	ナッジを活用した環境保全～グリーンナッジの考え方と事例紹介～	ポリシーナッジデザイン合同会社	代表 植竹 香織
	13:15-13:40	ローカル認証～地域が創る流通の仕組み	鳥取大学地域学部	准教授 大元 鈴子
	13:40-14:05	リモート学習教材を活用した海洋環境教育～「うみわかまもる」プロジェクト～	NPO 法人わかやま環境ネットワーク 一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会 KATEIS	理事 平井 研
	14:05-14:30	質疑・総合討論		
総括・表彰式・閉会式	14:40-15:10			